

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	成人保健係
■評価事業名称	がん対策基金積立金			
■事業開始年度	昭和56年度			
■評価事業コード	040200 - 257	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	がん対策基本法			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	がん対策基金を積み立て、有効に活用する。がんの予防及び緩和対策の資金に充てるため、基金に積み立てる			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	がん対策基金積立金	一般市民	寄付金を受け入れ積み立てる	寄付金 1件 17,608円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	53		212	18	H28年度 寄付実績1件 22,198円(H29年度分と合わせて積立)
人件費			153		
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	53		365	18	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	基金の積み立て額コスト	1.0	1.0	1.7	1.0	フルコスト/積立金額
02	基金の積み立て額	53千円	0	212千円	18千円	新たな基金の積み立て額
03	年間基金の積み立て額	53千円	0	212千円	18千円	寄付金を積み立てた。

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	基金の活用量	32人+2団体 検診無料 895人	34人+2団体 検診無料460人		53人+2団体 検診無料524人	乳房補正具助成事業活 用者、頭髪補正具助成事業活 用者、ボランティア派遣者、 介護用品補助者、市民活動 助成事業活用団体数。がん 検診受診初年無料化 H 26より医師意見書にも9割 補助開始
05	活用量1人あたりコスト	57円	0		31円	フルコスト/活用量1人あた り

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

寄付額が少額に留まっているが、事務手続きは順調の進めている。

問題点・課題等

がん対策基金は継続的に活用しているため、寄付額が減額となっている。将来的に基金をどのように捻出していくかが、大きな課題である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

がん対策基金は年々減額しているが、がん対策基金活用事業へのニーズは高まっているため、基金の捻出策に対する検討が必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了